

2016（平成28）年度学校関係者評価委員会 報告書

学校関係者評価委員会

委員会はPTA会長・PTA副会長・学院評議員（幼稚園選出）・卒園生から各1名ずつ計4名で構成されています。

経営目標	学院教育理念の下、園児一人ひとりの個性や育ちを尊重し、個々の能力の伸長を図る。 教育保育内容の充実と変革に努め、幼保連携型認定こども園への円滑な移行を図る。
------	---

重点課題	学校関係者評価委員会の意見
<p>○教育・保育力の向上 目標とする子ども像の明確化を図り、教育保育カリキュラムの精選を行う。 6年間の育ちを見通した系統的指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育ちに合った体力強化の場を設定 ・表現を楽しむ場の設定 ・理科的事象を利用した好奇心、探究心の育成の場の設定 ・異年齢による縦割り保育の場の設定 ・食育の充実 ・日々の継続指導による数量や言葉の指導 ・オーストラリア国際交流への参加による新しいカリキュラム・教材の開発 	<p>○楽しく興味を持って学ぶことができる理科実験等をカリキュラムに入れる事は、とても良いと思う。小学校に行く前に、子どもたちが学ぶ事の楽しさ、大切さを少しでも感じられるような環境づくりを今後も実施してもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・型にはめられることなく、自由さとルールを守ることをバランスをとりながら、上手に表現の自由を育てている。 ・学年別に運動能力目標を明確にしていることで、子どもたちもそれに向けて頑張ることができている。 ・サーキットトレーニングや理科実験など子どもたちも楽しそうに積極的に参加していた。特に理科実験については、小学校の先生が来られる事でいつもと違った難しいことが始まる雰囲気や上手に醸し出し、好奇心と緊張感を高めた上で行われるとてもいい内容なので、もう少し増やすことができればよいと思う。そうすれば、簡単な考察まで結び付けられるように発展できるのではないかと思う。また、理科だけでなく算数においても楽しく教えていただけると小学校に上がっても楽しく取り組めるのではないかと思う。 ・お買い物ごっこやシャッフルランチ等や縦割り保育や外遊び等自然な状況での異年齢交流があることで本当の思いやりの気持ちを育てている。 ・食育では、種から育てた植物を調理して食べる等なかなか家庭では難しいことやみんなで食べることで家庭では食べられなかった食材が食べられるようになっている。一種の成功体験として子どもの自信にもつながっている。お箸を上手に使うことを指導してもらっているが、ナイフやフォークについても学ぶ機会があるとよい。
<p>○募集・広報 教育と保育、進学と子育て支援のバランスの取れた園として保護者の信頼を得る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の各種催し物への参加 ・併設校校長による説明会 	<p>○本年も継続して地域活動の参加や協賛を行うことにより、追手門学院幼稚園の認知度をさらにあげられたのではないかと思う。実際追幼の入園希望者も増えており、募集開始後すぐに受付を締め切るなど、ここ数年高いパフォーマンスを維持していると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登降園時の住宅街通行が上げられる。近隣住民との良好な関係を築くためにも、ドライブルールの徹底の必要性を感じる。 ・地域の催し物等、地域住民も知らなかったことを幼稚園から知らせてもらえ広報の充実にありがたさを感じる。

<p>の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、業者写真、園からの刊行物等を使用した園の情報発信 ・地域支援事業による教育保育内容の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な時期に必要な情報を得られる安心感は、追手門ならではの。 ・地域のイベント等に幼稚園として参加することにより、幼稚園の名前が広く知られるようになってきている。今後は、社会奉仕も経験できればなおよいのではないか。例えば幼稚園の周りや公園のごみひろいや掃除などして子どもたち自身に、自分たちも地域の役に立つのだと実感できる等。
<p>○進路</p> <p>各家庭の希望実現のため、園として可能な限り最大限の補助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補習の実施 ・懇談会の実施 ・進学に関する情報提供 	<p>○総合学園の中の園として、</p> <p>追小への進学希望者を確保しつつ、追小以外の進学者にもきっちり対応ができています。これは保護者にとってもありがたいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここまで充実した補習をしている園は無いのではないかと。この補習で子どもたちはぐんぐん成長したと思う。 ・親を置き去りにすることなく、毎回懇談会が行われることで家庭での指導につなげられる。 ・進学の情報提供も量が程よいことで、迷い無く準備が進められた。 ・追小への進学については、プレテスト制度があり、園生活最後の夏休みの楽しく過ごせた。このような配慮は大変ありがたい。
<p>○併設校連携</p> <p>学院のこども園としての利点を最大限活かし教育・保育活動に反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事を中心とした連携カリキュラムの作成と実施 ・学院の人材、施設の園児、保護者への提供 	<p>○総合学園の強みを活かして様々な連携施策を実施され、子どもたちにとっても有意義な園生活を送れる環境を作っていると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・併設校を訪れる機会が何度かあり、また読み聞かせ、理科実験、進学説明会等、園に来ていただくなど総合学園としての利点を活かしている。 ・素晴らしい吹奏楽コンサート、素晴らしいグランドや諸施設の体験をすることで、小中高大学へと進学することの夢が膨らんだと思う。 ・保育課程と教育課程の交流も多くなり、自分より小さな子どもたちに対する優しさが子どもたちの心に芽生えていると思う。
<p>○施設・設備</p> <p>安心安全な環境づくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食供給体制の見直しと内容の充実 ・園庭整備 	<p>○他園の話聞く限り、追手門学院幼稚園の施設や設備内容はずば抜けてよいと思う。園全体が、警備には万全の対策をとった上で、開放的な設計なので、そこで生活する園児も、伸び伸び過ごしているように感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の安全に対しても業者に対して園からの要求を出し、見直しを毎年行っているので、安心ができる。 ・給食業者が2社になったことでメニューの幅が広がったことはとても嬉しい。 ・設備の安全と整備、清潔が徹底されている。 ・空気清浄機や加湿器が充実するとさらに環境が良くなるのではないかと。と思う。
<p>○人事・組織</p> <p>子育て支援の充実のため人的環境整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育内容の改善と充実 ・地域支援事業の実施 	<p>○預かり保育の質が上がっているのはよく耳にする。預かり保育専用のカリキュラムを作る事で単なる預かりではなく、新たな教育の場になっているように感じる。テーマによる工作や手作りおやつ等、園児が楽しく学べるように今後も引き続きお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの先生が子どもたちを見ているので、大きな怪我も事故も無く安心して過ごせている。 ・預かり保育のシステム、内容も常に改善と充実させる努力がみられ、子どもたちは楽しい時間を過ごせている。 ・預かり保育ならではの保育もあり、お迎えを待つ子どもたちが楽しく過ごせる

よう配慮されている。

【今年度の園の取り組み全体への意見と次年度の課題】

2016（平成 28）年度の園の取り組みに対する学校関係者評価委員会の意見

今年度も昨年度の保護者アンケートの結果を受け、いろいろな点が改善され、すべての項目についてのポイントが上がっていることは良かった。地域活動への参加・協賛により追手門学院幼稚園の認知度もさらに上げられているように思う。今後も園とPTAが協力して、園児一人ひとりが有意義な園生活が行えるよう環境づくりをお願いしたい。

次年度への取り組み課題

昨年度の評価を受け今年度も教育・保育の質の向上を図るべく日々意識をして取り組んできた。この点について保護者の皆様に一定の評価をいただき大変うれしく思っている。特に「保護者同士」のコミュニケーションの場の設定についてはPTA4 役様はじめ卒園保護者・現保護者の皆様のご協力を得て進学・受験をキーワードに交流をしていただく場の設定もできた。次年度も高い評価をいただいていることに安心せず、一つ一つの保育環境について検証を行い、新しい教育保育要領にも対応できるようPTAの皆様のご理解ご協力を得つつ日々研鑽を続けたい。